

互いの文化理解大切

北区で静岡文化芸術大生

民族紛争テーマ 児童に講座

静岡文化芸術大(浜松市中区)の1年生4人がこのほど、「 Bangladesh の民族紛争」をテーマにした特別講座を同市北区の聖隷クリストファー小で行った。紛争の背景などを解説し、6年生20人に「話し合ってお互いの文化を理解することが大切」と伝えた。

講師を務めたのは、文化政策学部国際文化学科の青木夏海さん(19)、北川柚音さん(18)、田中凌平さん(19)、デザイン学部デザイン学科の佐々木天音さん(19)。所属する



Bangladesh の民族紛争について解説する学生ら
＝浜松市北区の聖隷クリストファー小

団体の活動で8～9月に同国のチッタゴン丘陵地帯を訪れ、紛争被害者らに聞き取りを実施したという。学生は、同国でベンガル人と少数民族の紛争が始まった経緯や現地の子どもの生活を紹介。「民族問題は法律などで解決することが難しい」と指摘し、児童に向けて「お互いを理解することが多文化共生への第一歩になる」と訴えた。